

SPS-2611・QSS-2611・3001 タンク液作成の準備/調液方法

【MPC 仕様共通】

1. 薬品の準備

処理薬品 (MPC-22)	P-1R (CD)	P-2R (BF)	P-3R (STB)	P-1S
必要数量	1箱	1箱	1箱	—
使用本数	1本	1本	4本	2本

2. 調液割合

母液タンク容量		P-1 (CD)	P-2 (BF)	P-3 (STB)
		14.9 L	14.9 L	34.5 L
調液割合	補充液	6.0 L	9.0 L	34.5 L
	スターター	1,639 ml	—	—
	水	7.3 L	5.9 L	—

3. タンク液の調液

- * 各母液タンクから処理ラックを抜き出す時、液が他の母液タンクに入らないよう十分注意してください。
- * 調液に使用する容器(バケツ)は、CD用とその他用を分けてください。

- P-1 (CD)
1. 容量 10L 以上の清潔な容器に 15～40℃ の水を 8L 用意します。
 2. P-1R を1本投入し、1分程度攪拌して調液します。
 3. 2. で作った液(P-1R 補充液)を CDサブタンクから 6.0L 注入します。
残った液は補充タンクに入れてください。(約 4.0 L)
 4. P-1S (スターター) 1,639mLを CDサブタンクから注入します。
 5. 15～40℃ の水をオーバーフローするまで CDサブタンクから注入します。
(約 7.3 L)

- P-2 (BF)
1. 容量 10L 以上の清潔な容器に 15～40℃ の水を 5L 用意します。
 2. P-2R を1本投入し、1分程度攪拌して調液します。
 3. 2. で作った液(P-2R 補充液)を BFサブタンクから 9.0L 注入します。
残った液は補充タンクに入れてください。(約1.0L)
 4. 15～40℃ の水をオーバーフローするまで BFサブタンクから注入します。
(約 5.9 L)